

## 令和 6 年度経営課題等把握事業調査 設問項目検討表

区分	No	質問項目	選択肢	R4	R5	R6
(1)【新規】企業名等情報	1	全従業員数（個人事業主、役員、家族除く） パート・アルバイトは8時間で1人に換算	1.5人以下 2.5人超～20人以下 3.20人超～50人以下 4.50人超～100人以下 5.100人超～300人以下 6.300人超	○	○	○
(1)【新規】企業名等情報	2	代表者の年齢	1. 30歳未満 2. 30歳代 3. 40歳代 4. 50歳代 5. 60歳代 6. 70歳代 7. 80歳以上	○	○	○
(1)【新規】企業名等情報	3	創業年	西暦〇〇〇〇年	—	—	○
(1)【新規】企業名等情報	4	全従業員の平均年齢	1 20歳代 2 30歳代 3 40歳代 4 50歳代 5 60歳代 6 70歳以上	—	—	○
(1)【新規】企業名等情報	5	主たる事業所の所在地（選択）	1 横浜市 2 川崎市 3 横須賀三浦地域（横須賀市、鎌倉市、逗子市、三浦市、葉山町） 4 県央地域（相模原市、厚木市、大和市、海老名市、座間市、綾瀬市、愛川町、清川村） 5 湘南地域（藤沢市、茅ヶ崎市、秦野市、伊勢原市、寒川町、大磯町、二宮町） 6 県西地域（小田原市、南足柄市、中井町、大井町、松田町、山北町、開成町、箱根町、真鶴町、湯河原町）	—	—	○

区分	No	質問項目	選択肢	R4	R5	R6
(2)フェイス項目	6	貴社の営まれている業種のうち、売上高の最も高い業種についてお聞きます。(1つに○印)	1.建設業 2.製造業 3.運輸・通信業 4.卸売業 5.小売業 6.飲食サービス業 7.宿泊業 8.生活関連サービス業 9.その他サービス業 10.医療・福祉 11.IT関連業 12.その他( )	○	○	○
(2)フェイス項目	7	貴社の売上高についてお聞きます。(直近期の決算数字)(1つに○印)	1.3,000万円未満 2.3,000万円以上～5,000万円未満 3.5,000万円以上～1億円未満 4.1億円以上～5億円未満 5.5億円以上～20億円未満 6.20億円以上	○	○	○
(2)フェイス項目	8	貴社の前期、前々期の経常利益についてお聞きます。(1つに○印)	1.二期連続黒字 2.直近期末が黒字 3.その他	○	○	○

区分	No	質問項目	選択肢	R4	R5	R6
(3)経営課題	9	現在、重視している経営課題について、お聞かせください。(5つまで○印)	1.業種・業態の転換 2.仕入先の開拓 3.仕入価格・原材料費の上昇に対する価格転嫁 4.販路開拓・販売促進への対策 5.製品開発など新事業展開への取組 6.製造工程・サービス提供工程の効率化・省力化 7.I T化・D Xへの対応 8.機械設備等の老朽化・更新、設備投資への対応 9.最低賃金・人件費上昇への対応 10.人材の確保・採用・育成 11.後継者の確保による事業承継対策 12.資金繰りや資金調達 13.借入資金の返済 14.海外展開や外国人顧客への対応 15.競争商品や他社との差別化戦略 16.脱炭素化への対応 17.災害時等の危機管理体制の構築 18.サイバーセキュリティ対策 19.キャッシュレス化への対応 20.その他( )	○	○	○
(3)経営課題	10	経営課題に取り組むにあたり、ネックとなっていることをお聞かせください。(3つまで○印)	1.業種・業態の転換 2.仕入先の開拓 3.仕入価格・原材料費の上昇に対する価格転嫁 4.販路開拓・販売促進への対策 5.製品開発など新事業展開への取組 6.製造工程・サービス提供工程の効率化・省力化 7.I T化・D Xへの対応 8.機械設備等の老朽化・更新、設備投資への対応 9.最低賃金・人件費上昇への対応 10.人材の確保・採用・育成 11.後継者の確保による事業承継対策 12.資金繰りや資金調達 13.借入資金の返済 14.海外展開や外国人顧客への対応 15.競争商品や他社との差別化戦略 16.脱炭素化への対応 17.災害時等の危機管理体制の構築 18.サイバーセキュリティ対策 19.キャッシュレス化への対応 20.その他( )	○	○	○

区分	No	質問項目	選択肢	R4	R5	R6
(3)経営課題	11	貴社の経営課題はどこに相談していますか。相談先について教えてください。	自由記述	○	○	○
(3)経営課題	12	これまでに利用したことがある公的機関の支援施策についてお聞かせください。（すべてに○印）	1. 利用したことがない 2. 経営相談 3. 技術相談・支援 4. 経営革新・経営力向上等の計画作成 5. 融資 6. 助成金・補助金・給付金 7. 協力金 8. 税制優遇 9. 研修・セミナー 10. 商談会・展示会等 11. 専門家派遣 12. その他（ ）	○	○	○
(4)市場の変化への対応	13	過去1年間に、賃上げの実施状況についてお聞かせください。（一つに○印）	1. 業績が好調・改善しているため賃上げ実施した 2. 業績の改善が見られないが賃上げを実施した 3. 賃上げは実施していない	—	—	○
(4)市場の変化への対応	14	お客の中に、インバウンド（外国人観光客）はいますか。（一つに○印）	1. インバウンドの顧客が多い 2. インバウンドの顧客はほどほどいる 3. インバウンドの顧客は少ないがいる 4. インバウンドの顧客はいない	—	—	○
(4)市場の変化への対応	15	市場の変化への対応等について、苦労している点や取組の成果を参考事例として教えてください。	自由記述	○	○	○

区分	No	質問項目	選択肢	R4	R5	R6
(4)市場の変化への対応	16	円安や原材料、エネルギー費等の物価高騰に伴う財務上の課題をお聞かせください。 (すべてに○印)	1. 前期比で売上高が低迷した 2. 発注側企業との適切な価格交渉や価格転嫁ができず、苦勞した 3. 仕入価格等が上昇し、利益が圧迫された 4. 燃料費等の高騰により、利益が圧迫された 5. 賃上げにより、人件費が上昇した 6. 資金繰りに苦勞した 7. 債務残高が増加した 8. 影響はなかった 9. 特需があった 10. その他 ( )	—	—	○
(4)市場の変化への対応	17	16で「2」に回答した方に質問です。物価高騰の影響をどの程度、価格転嫁できていますか。(一つに○印)	1. 十分に転嫁できている 2. おおむね価格転嫁できている 2. 多少なりとも転嫁できている 3. 全く価格転嫁できていない	—	—	○
(4)市場の変化への対応	18	ロボット・ICT機器やツール等(以下「ロボット等」という)の普及・実用化に伴う市場変化への対応等についてお聞かせください。(すべてに○印)	1. 既にロボット等を導入・活用している 2. ロボット等の導入・活用を検討している 3. 既にロボット産業(ロボット等の製造・開発・保守等)に参入している 4. ロボット産業(ロボット等の製造・開発・保守等)に参入を検討している 5. いずれも検討していない 6. その他 ( )	—	—	○
(5)特定課題への対応	19	SDGs への取組状況をお聞かせください(一つに○印)	1. 取り組んでいる 2. 取り組んでいない	○	○	○

区分	No	質問項目	選択肢	R4	R5	R6
(5)特定課題への対応	20	自らの事業活動の脱炭素化（※）に関する取組状況などをお聞かせください。（1つに○印）	<p>（選択肢①）</p> <p>1 既に脱炭素化を実現した</p> <p>2 脱炭素化に向けて取組を進めている</p> <p>3 脱炭素化の必要性は感じているが、まだ具体的に取り組んでいない</p> <p>4 脱炭素化の必要性は感じておらず、今後、脱炭素化に取り組む予定・必要はない</p> <p>5 その他（ ）</p> <p>※自らの事業活動における脱炭素化とは、CO2をはじめとする温室効果ガスの「排出量」から、植林、森林管理などによる「吸収量」を差し引いて、合計を実質的にゼロにすることです。</p>	○	○	○

区分	No	質問項目	選択肢	R4	R5	R6
(5)特定課題への対応	21	貴社の脱炭素化に関する取組についてお聞かせください。 (すべてに○印)	1. 神奈川県地球温暖化対策推進条例に基づく事業活動温暖化対策計画書制度の計画書を提出している、または申請を検討している 2. かながわ脱炭素チャレンジ中小企業認証制度の認証を受けている、または申請を検討している 3. ISO14001の認証を受けている、または申請を検討している 4. エコアクション21の認証を受けている、または申請を検討している 5. 再エネ100宣言 RE Actionの枠組みに参加している、または参加を検討している 6. 県が実施するかながわ再エネ電力利用応援プロジェクトにおけるかながわ再エネ電力利用事業者認定（再エネ率100%に限る。）を受けている、または申請を検討している 7. その他の脱炭素関連の認証を受けている、または申請を検討している（ ） 8. 脱炭素化に関する取組への投資を検討している 9. 横浜市と川崎市の脱炭素の枠組みに参加している	—	—	○
(5)特定課題への対応	22	自らの事業活動の脱炭素化を進める上での課題などをお聞かせください。（3つまで○印）	(選択肢②) 1 知識やノウハウが不足している 2 業務負荷の増加が懸念され、対応する時間的・人的な余裕がない 3 設備投資等に必要な資金が不足している 4 設備投資等を実施しても投資回収が見込めない 5 CO2削減のための技術が確立されていない工程や設備が多い 6 社内の合意形成や協力・理解が得られない 7 その他（ ） 8 分からない 9 特になし	○	○	○

区分	No	質問項目	選択肢	R4	R5	R6
(5)特定課題への対応	23	自らの事業活動の脱炭素化に取り組む上で必要な支援などをお聞かせください。(3つまで○印)	1 脱炭素に関する講演会や相談会の開催・講師の派遣 2 相談窓口の設置・案内 3 同業他社の効果的な対策例の紹介 4 CO2排出量の算定・把握に関する支援 5 省エネ診断費用の補助 6 省エネ設備・太陽光パネルなどの設置費用の補助 7 脱炭素に関する金融面の支援 8 CO2削減に向けた計画策定支援 9 意欲的な事業者としての表彰・認証 10 その他( ) 11 分からない 12 特になし	—	—	○
(5)特定課題への対応	24	D X推進のため、貴社で行っている又は行う予定の取組についてお聞かせください。(3つまで○印)	①組織再編、②デジタル活用の視点からの業務プロセスの見直し、 ③ワークフローや在庫管理等のデジタル化、 ④Web広告やオンラインプラットフォーム、 ⑤定型業務の自動化(RPA)、⑥業務におけるオンラインの活用、 ⑦ペーパーレス化、⑧ハンコの撤廃・電子契約の導入、 ⑨業務システムのクラウド化による販売路線の多角化、 ⑩取り組む予定はない、⑪その他	○	○	○
(5)特定課題への対応	25	従業員等のリスクリング推進のために必要な支援についてお聞かせください。(3つに○印)	①従業員のリスクリングを進めるための経営者向け相談窓口、②経営層・管理者層向けのリスクリング啓発セミナーの開催、③従業員が受講できるリスクリング講座等の提供④リスクリングを進めるための助成金⑤その他	—	○	○

区分	No	質問項目	選択肢	R4	R5	R6
(6)人材確保	26	従業員の人材育成や能力開発に関する課題についてお聞かせください。(3つまで○印)	①指導者がいない、 ②研修費用が高い、 ③時間が足りない、 ④人材育成の方法がわからない、 ⑤社外の力を借りたいが、方法がわからない、 ⑥技術革新や業務変更が頻繁で対応できない、 ⑦特に問題はない、 ⑧その他	○	○	○
(6)人材確保	27	人材の確保に関する充足感についてお聞かせください。(1つに○印)	1.十分に確保できている 2.おおむね確保できている 3.あまりできていない 4.まったくできていない 5.その他( )	○	○	○
(6)人材確保	28	人材の確保ために、主に実施されていることについてお聞かせください。(3つまで○印)	1.就職ポータルサイトの利用 2.紙媒体の求人広告の利用 3.民間人材紹介会社の利用 4.ハローワークの利用 5.副業・兼業人材の受け入れ 6.外国人材の受け入れ 7.インターンシップの実施 8.身内や知人等からの紹介 9.自社ホームページでの募集 10.その他( )	○	○	○

区分	No	質問項目	選択肢	R4	R5	R6
(6)人材確保	29	人材の雇用・採用にあたっての課題をお聞かせください。 (3つまで○印)	1.適した人材を確保するための手段やノウハウの不足 2.採用にあたっての諸経費(手数料や広告費等)が負担となっている 3.求職者(応募者の数)がなかなか集まらない 4.求める質の人材がなかなかいない 5.採用後の定着率が低い 6.その他( ) 7.課題は特にない	○	○	○
(6)人材確保	30	人材の確保にあたって、どんな人材を求めているかをお聞かせください。(複数回答)	1.新卒(若手) 2.中途採用 3.女性 4.シニア 5.外国人材(専門的・技術的分野) 6.外国人材(技能実習・特定技能) 7.その他( )	—	—	○
(6)人材確保	31	人材確保について苦労している点や、取組の成果を参考事例としてお聞かせください。 (自由記述)	自由記述	○	○	○
(6)人材確保	32	外国人労働者の受入れ状況等について伺います。 (設問文1) 貴社(団体・事業所)において、ここ一年で外国人労働者を受け入れていますか。	①受け入れている。 ②受け入れていない。	—	—	○

区分	No	質問項目	選択肢	R4	R5	R6
(7)事業継続	33	事業継続計画の策定状況についてお聞かせください。(1つに○印)	1.策定していないし、必要性も感じていない 2.策定していないが、必要性は感じている 3.策定したが、メンテナンスを行っていない 4.策定し、訓練等を行っている 5.そもそも事業継続計画が何であるか分からない	○	○	○

区分	No	質問項目	選択肢	R4	R5	R6
(7)事業継続	34	事業継続計画を策定した方、 されていない方、いずれも、 策定にあたっての課題をお聞 かせください。（すべてに○ 印）	1.特に課題はない 2.人員の確保（策定するための人員の確保） 3.資金の調達（専門家に相談する等の費用の捻出） 4.時間の確保（作成するための時間の確保） 5.親会社や取引先の協力 6.情報の不足（策定の仕方がわからない） 7.その他（ ）	○	○	○
(7)事業継続	35	（Q34で1・2・5と回答し た方）事業中断リスクの備え として実施しているものを教 えてください。（すべてに○ 印）	1.対応マニュアルや携行資料の作成 2. 集合研修・会議の開催 3. Eラーニング教育の実施 4. 訓練の実施 5. セミナーの受講 6. 本社機能・営業所の代替施設の準備 7. 備蓄品の購入・買い増し 8. 安全確認用の電子システムの導入 9. 災害対応責任者の決定 10. 従業員の安否確認手段の整備 11. 業務データのバックアップ 12. 事業所の安全性確保 13. 感染症の流行等により従業員が出勤できない場合の体制整備 14. 感染症の流行状況等に応じた段階的な対策の整理 15. 特にない 16. その他（ ）	○	○	○
(7)事業継続	36	事業継続計画（BCP）の取組 を進めるためには、どうすれ ばよいか、ご意見をお聞かせ ください。（自由記述）	自由記入	○	○	○

区分	No	質問項目	選択肢	R4	R5	R6
(8)事業承継	37	事業承継の取組状況についてお聞かせください。(1つに○印)	1. 取組中である(検討中を含む) 2. 課題と感じているが、取り組んでいない 3. 今の事業が自分の代限りとなると感じている 4. 現在の事業を継続するつもりはない(廃業予定を含む) 5. 当面は必要ない 6. 既に事業承継が済んでいる 7. その他( )	○	○	○
(8)事業承継	38	(Q37で1と回答された方) 取組の進捗状況をお聞かせください。(1つに○印)	1. 後継者がいないので、これから探して事業を継続したい 2. 後継者候補はいるが、正式に決定していない 3. 後継者は確定しているが、具体的な取組はこれからである 4. 後継者が確定し、取り組み中である 5. 第三者への譲渡を検討している 6. その他( )	○	○	○
(8)事業承継	39	(Q37で2・3・4と回答された方) 理由をお聞かせください。(1つに○印)	1. 親族又は親族以外の役員・従業員から後継者を見つけようとしたが、適した者が見つからなかったため 2. 後継者候補に事業を継ぐ意志がないため 3. 事業をとりまく環境が厳しく、これ以上の事業継続が難しいため 4. 技術やノウハウを伝承することが難しいため 5. 事業譲渡(M&Aなど)を検討したが、適した相手方が見つからなかったため 6. 事業の承継対策のためには手間と経費がかかるため 7. 事業の継続問題について適当な相談先が見つからなかったため 8. その他( )	○	○	○

区分	No	質問項目	選択肢	R4	R5	R6
(8)事業承継	40	事業承継に係る様々な相談先について、利用実績や関心があるものについてお聞かせください。（すべてに○印）	1. セミナー・スクールへの参加 2. 商工会・商工会議所等による経営相談窓口 3. 神奈川県事業承継・引継支援センター 4. 取引金融機関 5. 税理士・公認会計士等 6. 中小企業診断士 7. 経営コンサルタント 8. その他（ ）	○	○	○
(9)全体的な事項	41	行政による支援についてご要望等をお聞かせください。（自由記載）	自由記載	○	○	○
					合計	41